

# 学びの広場

2020  
8月号

問 教育課 学校教育係 ☎(83)7023  
生涯学習係 ☎(83)7021

## 大寺地域集会施設と自治会活動について

今月は、大寺地域集会施設の事業や活動について、自治会長の中津川定雄さんにお伺いしました。

### 大寺宮地自治会の誕生

本自治会は大寺地区と宮地区の連合自治会です。両地区は離れており、それぞれに独自の文化風習があります。昔から生産森林組合など地区間の交流が深く平成11年に連合自治会としてスタートし、様々な活動を通じて地域づくりに取り組んでいます。



大寺地域集会施設

大寺地区の集会拠点である「大寺地域集会施設」は平成24年に完成しました。

### ① 大寺宮地いきいき活動クラブ

地区内の沿道や大寺橋にヒ

マワリやチューリップを植栽するなど地域の環境美化を推進する組織で自治会の誕生と同時に結成されました。現会員数は25名ほどで、年末の町道大掃除など年間を通じ広く活動しています。地域集会施設敷地内でヒマワリの植え付けプランター



ヒマワリの植え付け

### ② シニアあわせの会

3年前に現民生委員さんが

立ち上げた会で、大寺地区にお住まいで普段あまり外に出る機会が少ない高齢者の方に声を掛け、月1回第3金曜日に地域集会施設に集まり、お茶を飲みながらおしゃべりしたり、時にはお弁当を頼んで

みんなで昼食を楽しんだり和やかに交流を図っています。また、地元の方を講師に迎え、体を動かしながら脳を鍛えるコグニサイズ体操や寄在のサックス奏者吉崎さんによるふれあいサックス演奏会などこれまで回数開催しています。



サックス演奏会

### ③ 大寺宮地祭囃子保存会

町の無形文化財に指定されて

いる「寄祭囃子」を古くから大寺と宮地区の有志により保存・継承しています。通常の稽古は月1回ですが、年が明けると3月の寄神社例祭に向け週2回地域集会施設で稽古に励んでいます。平成19年度から地区の小中

学生を対象に子供囃子会を発足させ一緒に活動しています。少子化の折、現在では少人数になってしまいました。大人とともに例祭のほか若葉まつりや観光まつりなどにも出演し活躍しています。



「寄祭囃子」の稽古

### ④ 自治会活動

町総合防災訓練では地区住

民が地域集会施設に避難し、消防団と連携した初期消火訓練のほか、傷病者搬送訓練などを実施しいざという時のために備えていきます。



町総合防災訓練

また、スポーツ大会では老若男女誰でも気軽に参加できるボールダーツゲームを楽しむなど健康増進と親睦を図っています。

### これからの利活用

コロナ禍で一部活動は自粛していますが、今後も持続可能な自治会や地域活動の拠点として、有効に活用してまいります。

## 松田文化財探訪

### 続・町指定文化財とその周辺 その12

文化財保護委員 鈴木 一行

#### 先史・古代の遺跡や遺物(七)

##### くからさわ瓦窯跡①

松田山山頂付近の最明寺史跡公園内に「古代瓦焼窯跡(町指定文化財)」があります。隣には「からさわ古窯跡群」と題された立派な説明板が設置されています。実は、この窯跡は唐沢の西斜面にあったものを1987年に移築したもので、学術的には「からさわ瓦窯跡」などと呼ばれる有名な遺跡なのです。



移築された3号窯

です。そのような経緯もあって、4基の内の一つが移築保存されることになったのです。保存された登窯は全長7m、幅2mで、傾斜角は約45度。焚口の先の燃焼室で松などを燃やし、その奥の階段状になった焼成室に生瓦を置いて焼くのです。そして、一番上には煙突の役割をした穴があったと考えられています(発掘時、天井部分は崩れていた)。焼成室は9段になっており、各段の奥行きは30cm程。この窯で「一回に屋根瓦を百五十から二百枚位は焼くことが出来た」と説明板は教えてくれています。

1968年、東名高速道路建設時に河内川西隣の唐沢の斜面から複数の窯跡と横穴墓が発見されました。しかし、その後の拡張工事によって遺跡は取り壊されることになりました。そこで、1985年から再調査が行われることになったのです。その結果、これらの窯跡は8世紀初頭に造られたもので、県内でも貴重な登窯であることがわかりました(当時、県内で知られていた古代瓦窯跡は横須賀市の二例のみ)。加えて、出土した屋根瓦は小田原市の千代廃寺(千代寺院跡)で使用された物と同じであることが判明したの

さて、千代廃寺創建期の屋根瓦はからさわ瓦窯の製品で占められていたことがわかっています。では、なぜ寺から8kmも離れた所に瓦窯が造られたのでしょうか。それは唐沢の地が瓦づくりに必要な燃料・粘土・水などを容易に入手できる場所であり、運搬のために酒匂川を利用できる利点もあつたからでしょう。では、誰のために、どの様な人々が瓦を焼いていたのでしょうか。